

令和3年度

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

子どもたちの豊かな心を育むため平成14年度より実施している本事業は19年目を迎えました。

今年度は「ふくしまの 想いを繋ぐ 十七字」のキャッチフレーズの下、「絆部門」と今年から新たに「ふるさと部門」を新設し、二部門で作品を募集しました。コロナ禍の影響で夏季休業が減少される中、県中域内では、8,633組の方々から御応募いただきました。御協力をいただきました市町村及び市町村教育委員会、幼・保、こども園、小・中・義務教育学校、県立各学校、公民館、そして審査に御協力いただきました福島県公立学校退職校長会の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、9月29日に行われた県中域内第一次審査では、福島県公立学校退職校長会県中域内各支部より25名の皆様に審査員としておいでいただきました。厳正な審査の結果、8,633組より459組の優良作品を選考し、県の第二次審査へ送ることができました。県の第二次審査を経て、県中域内からは23組の優秀な作品が最終審査へと選出されました。10月20日の最終審査の結果、県中域内から最優秀賞に1組（絆）、優秀賞に4組（絆3組、ふるさと1組）、佳作に5組（絆3組、ふるさと2組）の計10組が入賞を果たしました。また、最終審査に進むも惜しくも入賞を果たせなかった13組（絆10組、ふるさと3組）に「県中奨励賞」を、全校をあげて取り組み、優れた作品を数多く生み出した学校の11校、1園に「学校賞」を授与しました。

寄せられた作品には、家族や身近な人たちとのふれあいや共有体験を通じた思いや気持ち、復興への願いなどが五、七、五の十七文字に込められていました。また、出品者からは「親と子のつながりのためにも、とても良い事業だと思います。」「親子で考えてつくることを毎年楽しみにしています。これからも続けてほしいです。」など、温かく貴重な御意見・御感想を多数お寄せいただきました。

県中教育事務所では、入賞作品や第一次審査通過作品を多くの方々に御覧いただきたく、作品集を発刊し、教育委員会及び各学校、公民館へ配付いたしました。この作品集を通して、子どもたちの瑞々しい感性や子どもたちを見守る身近な人々の思いや願い、家庭や地域の絆を感じ取ってもらえることを願っております。

令和3年12月

福島県教育庁県中教育事務所長 板橋 竜男

県の表彰式は令和3年12月11日（土）に福島テルサにて行われました。県中地区からは最優秀賞1組（絆部門）が表彰されました。県の表彰式の様子は、福島県教育委員会ホームページに紹介されますので、こちらからご覧ください。
福島県教育庁社会教育課 (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/syukaikyoiku470.html>)



県中域内表彰伝達式



R3.12.13 古殿町立古殿小学校
(学校賞)



R3.12.13 田村市立船引南中学校
(学校賞)



R3.12.13 浅川町立浅川小学校
(学校賞)



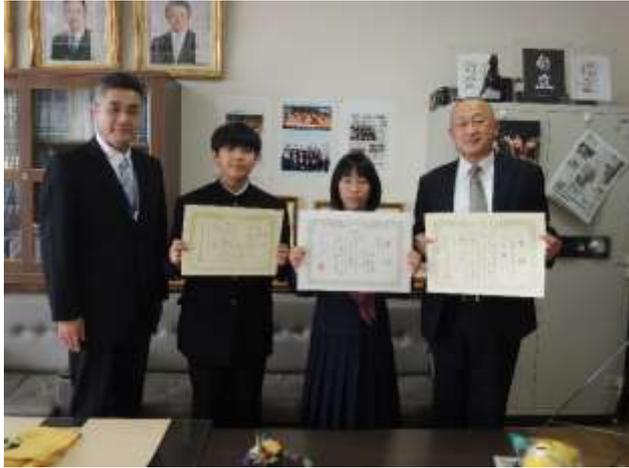
R3.12.13 郡山市立朝日が丘小学校
(佳作)



R3.12.13 浅川町立浅川中学校
(学校賞)



R3.12.14 石川町立石川小学校
(佳作・奨励賞2名)



R3.12.14 郡山市立郡山第一中学校
(学校賞・優秀賞・奨励賞)



R3.12.14 福島県立聴覚支援学校中学部
(学校賞)



R3.12.15 田村市立滝根中学校
(優秀賞)



R3.12.15 須賀川市立義務教育学校稲田学園
(学校賞)



R3.12.15 須賀川市立稲田幼稚園
(学校賞)



R3.12.15 鏡石町立第一小学校
(優秀賞)



R3.12.15 郡山市立金透小学校
(学校賞)



R3.12.16 三春町立三春小学校
(佳作)



R3.12.16 須賀川市立柏城小学校
(佳作・奨励賞)



R3.12.16 郡山市立郡山第四中学校
(学校賞・優秀賞・佳作・奨励賞)



R3.12.17 須賀川市立大森小学校
(学校賞)

